資料1

H 22年8月26日

武蔵野市の将来を考える市民会議 提案 (2)

I 健康・福祉

1. 少子高齢化対策

(1) 子供対策

a) 空地が出来た時マンションより社宅を誘致する。
社宅は常に現役世代の年令層を保つ。

b) 産婦人科のネットワークを充実する。出産率の恢復

c) 保育園(託児所)を駅ビル或はその周辺に設置する。三つ有る駅の有効活用。

d) 教育熱の行届いた街の印象を与え青少年を育てる家族にとって魅力の有る街にする。

・青少年達に人生の目標を持たせ活気をつける。
・その為には先生方の育成が必要。社会人として経験も積ませる。
・社会人としてのマナーを身につけさせる。服装等にも気を配ることにより街の雰囲気が変る。

GR6号(A4 145 100枚)

2. 高齢化対策

a) 介護負担の軽減

・介護支援から介護に移行するまでに充分な訓練とする。
・筋肉体操等自分でやれる様、継続的で普及しやすする
・運動をする。
・介護の認定を適切に。
・支援の段階での歩行補助等の軽量な義足的な機器
・関係者が考えられぬか。例えば二関節筋理論を活用したロボット的補助具。

b) 健康維持の散歩の奨励

農家の直売所を巡る散歩コースを整備し、買物がてら
高齢者が散歩に誘われる様工夫する。

・商品を買いやすい陳列
・コースの設定と案内標示の工夫。歩数も並記する。
・散歩コースの景観を整える。
・仙川の手入れは当市は良いが練馬区は放置している。農地は練馬区続いている。連携出来ないか。

c) 医療関係者の医療負担の軽減策が必要。

・癌の治療は手術より放射線治療に重点を移す。欧米先進国では60%が放射線治療に成っています。通院が可能で、患者も医療側も負担が軽減。

・尊厳死の普及。---パイプを何本も突込んだ延命治療は本人にとっても苦しみで、治療側にも大きな負担になっています。関係者で研究してみて下さい。

・メタボリックシンドロームにあまり力を入れぬこと。あれは自業自得だと思っています。

II 子供・教育

少子化と重複する点少子化対策

を主体としました。

1. 学校での教育

a) 競争試験を経験し入学する人間関係の中で学ぶことを通じて益々競争が厳しくなり、優秀な人材が育つ政策を作ってエリート交流の問題です。

b) 学校の子供達が落ちこぼれ卒業生に企業まかせにしてはつまり社会の次世代を担う若者を教育する為、慣れない学生を取り扱うのは大変難しい問題です。

c) 全国共通試験は全員が受験させ、良い成績を維持する為に努力する。

d) 教育から見ての世代間の親善を育てる為に、国防は国家の責任です。

学校教育は、ここでは成績が悪い子供達の為に、学校教育は、ここでは成績が悪い子供達の為に、学校教育は、ここでは成績が悪い子供達の為に、

2. 学校と家庭の連携

a) 挨拶を交わす子を育てましょう。
最近の子は、挨拶をしません。顔見知りには、
挨拶をしない指導に成っている様
子が多い。
挨拶をしない女性が多くなり、
挨拶をしない方が増えました。
昔は、お母さん方が、
挨拶をしない世代に成
り、
挨拶をしない道を歩く
ことが、
挨拶をしない人が、
挨拶をしない会釈も
挨拶をしない会釈
挨拶をしない会釈
挨拶をしない会釈

Ⅲ 緑・環境・市民生活

1. 緑の保存

a) 駐車場の緑化

大きなお屋敷が相続等で細分化され、豊かな緑が失われることが多く残念に思っています。

殊に駐車場に成るとコンクリートで固め殺風景になります。駐車場を作る時は何等かの緑化努力する様に指導出来ませんか。

- 木を何本か植える。
- コンクリートは砂利にする
- 一部を芝生にする。

b) 校庭の緑化

ビオトープは良い企画だと喜んでいますが、校庭の芝生化は充分検討すべきです。冬の霜に弱いですし、頻繁に踏まれると枯れます。英国等とは全く條件が異ります。維持費がかかる様に成ります。

2. 環境

燃料電池、太陽電波等は夫々特長を持った装置ですが、充分検討して適所に配置採用すべきです。燃料費用、寿命等考えねばならぬ要素があります。マスコミに躍らされぬよう。商工会館の燃料電波は最初から無意味だと見ていました。

3. 市民生活

a) ゴミの分類

分類のしかたが悪い人が居ますが、指導はひつこい程繰返しすが必要があります。これは規制の総て共通の問題です。

目減りするガラクタごみの分類で鉄等の金属を一つの分類項にしてはどうか。資源ごみになれば一般ごみはアルミ屑、鉄等は値段が上って来る様です。

アルミ箔も量は少いですが電力の塊と云われる金属です。アルミ缶といっしょに纏めては。

b) 食品の賞味期限と使用期限の運用を柔軟化すれば食糧の廃棄が減らせるのではないでしょうか。食糧品の60%を輸入し、40%近くを廃棄しているのは異常です。改善する努力をすべきです。賞味期限の決め方や関連法則に精通せず機械的に運用しているのでは。

c) FF前広場を人々が憩い易い場に整備し、「吉祥寺プラザ」としてはベンチを置いたり、時には賑にしくないイベントを開催しても楽しいでしょう。

D) ハモニカ横町

防災上迷う点も有るでしょうが、上手に整備運用出来れば当市の中の温い雰囲気のコーナとして人々を集めることが出来ると思われます。

- 整理整頓一狭いですから何か共通の倉庫を作る
- 道を歩きやすくする。
- 居酒屋はモラルの醸成に努力する。
- 購入した菓子等を座って食べられる様な小綺麗なコーナを設ける。
- 入口には落付いてセンスの有る門をつける。
- 全体のバランスのとれた構成を建設家に依頼して作っておくのも良いかと思います。

IV 都市基盤

はめおらは
人口なり沢
進めますが、人口減に傾向
に計画的に進めますが、人口減に傾向
思いましなければ等順位
計画的に進めますが、人口減に傾向
と思いましなければ等順位
覚悟しかなければ重要
意識しかなければ重要
配慮いかなければ重要
分配慮いかなければ重要
充分配慮いかなければ重要
切る充分配慮いかなければ重要
お切る充分配慮いかなければ重要
資産配慮いかなければ重要

市をお切る充分配慮いかなければ重要
市の資産配慮いかなければ重要
市の資産配慮いかなければ重要

等、市の資産配慮いかなければ重要
道、等、市の資産配慮いかなければ重要
水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
人し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
万人し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
10万人し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
って10万人し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
市って10万人し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
の市って10万人し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要
ません。の市って10万人し人せ任せ水道、等、市の資産配慮いかなければ重要

1. 文化施設

文化施設のレベルの高いことは喜ばしいですが、文化施設の
文化施設のレベルの高いことは喜ばしいですが、文化施設の
運営は市の財政負担になっていませんか。外国から
の運営は市の財政負担になっていませんか。外国から
団体や歌劇団等の公演広告を見て心配しています。

2. 災害対策

見られる様に
。自衛隊やコスモス救援隊が駆けつけ市民の安心は如何でしょうか。
か、自衛隊やコスモス救援隊が駆けつけ市民の安心は如何でしょうか。
は非常時に市民の安心は如何でしょうか。
。非常時に市民の安心は如何でしょうか。
常時に市民の安心は如何でしょうか。
常時に市民の安心は如何でしょうか。

V 行・財政

1 市民と行政との協調

a) 市民団体が意見を集め、市政に提示する方法

市民の意見を集めるのは良いと思います。

市民団体の意見を集約する場合、コミュニティセンター等の市民組織の団体が有ります。

市政に提示する場合、現在の市政の問題点を提示する方法

b) 高齢者の生活環境整備

高齢者の生活環境整備は、シルバーセンターの設置、シルバー人材センターの設置、高齢者の生活環境整備の方法、定年後の世代が多数参加する場合の問題点を調査し、対策を講ずる必要があります。

c) 交通規制、駐輪場等

駐輪場等の問題は、大変な問題があります。

しかし自転車は本来、交通規則を守る側の子供達は歩道を通行する方法があいまいです。

自転車は、また歩道では歩行者を押しのけて自転車同志ぶつかってしまいます。

増えてきている交通違反の取締りは、なかなか成果が挙がっていると思います。

避けて通れない問題であることは勿論、お母さん方が怪しく成ってきている状況はあまり良くありません。

こんな状況を見かけたら、学校でも指導し、学校の先生方が繰り返し指導しないと身につかないのです。

d) 当市の外国人の状況と親善活動

当市の外国人が増加する傾向が有りますか。

また外国人の学校が有るのですか。

国際親善の活動をしておられ、その事は良い事ですが、交歓相手国や市の選択、親善行動の評価等は発表していますか。漫然と続けている様にも見えますが。

2. 財政

a) 文化施設の収支？

b) 市の収入で企業からの税金が急激していますが恢復努力をしたいものです。大型店の導入も効果が有るでしょうが、私は前述したように、新しいタイプの介護補助器具の開発と生産工場が育てばとの夢を持っています。

c) 高齢者は利息ゼロが続き、人生計画が狂った人が多いと思います。正常の利息が有れば税金や健康保険料等の上昇に耐えられますし、つき合や孫えのサービス等の出費が出来ます。

一つの案として市の発行する市債を高齢者に売り、2〜3%の(?)利息をつけて、その利息を商品券に変えられる様にすれば応ずる高齢者はかなり居られると思います。

（以上）